Kobe University Repository : Kernel

PDF issue: 2025-07-02

開催趣旨

神戸大学大学院人文学研究科
神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター

(Citation)
歴史文化をめぐる地域連携協議会予稿集,16:1-2

(Issue Date)
2018-01-28

(Resource Type)
conference object

(Version)
Version of Record

(URL)
https://hdl.handle.net/20.500.14094/81010230

開　催　趣　旨

このたびは、ご多忙のなか第 16 回歴史文化をめぐる地域連携協議会にご参加いただき誠にありがとうございます。

今回の協議会のテーマは、「住民主体の〈地域史づくり〉―平成大合併後の状況の中で」としました。神戸大学大学院人文学研究科地域連携センターでは、「平成の自治体大合併」がピークを迎えつつあった 2004 年度と 2008 年度の地域連携協議会の場で、大規模合併が地域歴史遺産の保存・活用にもたらす影響をめぐって議論しています。その際、『香寺町史』と新・姫路市との関わりが議論されることはありましたが、大合併後の状況の中での地域史づくりのあり方をめぐって直接議論が及ぶことはありませんでした。地域史づくりの新たな傾向をめぐっては、むしろ 2012 年度の協議会で取り上げており、叙述の問題も含め住民と自治体、大学とがそれぞれ平等な立場で地域史を学びあう必要性が協議されました。こうした協働による地域史の学びあいのうち、とくに地域住民が主体となるものを〈地域史づくり〉と表現しておきます。

その後も私たちは〈地域史づくり〉の問題を考える上で注目すべきケースを経験し、また見聞も重ねてきました。そこで今回はそれを前提に次のような論点を設定することにしました。

まず第一に、自治体史誌編さんにあたり、自然環境や生活環境の同一性に基づく独自の地域設定がなされるケースがみられます。たとえば現在も編纂が続けられている『和泉市史』において叙述上の領域単位として「谷」への着目がなされたり、『香寺町史』において「山手」「台地」「川手」といった地域区分がとられたことなどが挙げられます。これらは、自治体としての領域を必ずしも自明視せず、その地域がたどってきた歴史や住民の生産活動、そして生活実感に基づいた領域感覚に着目した結果と考えられます。その背景には、平成の大合併で、大規模な合併が実現したにも関わらず、現実の地域社会には合併直前の、場合によっては江戸時代にまで遡るような領域感覚が根強く維持されていたことがあると思われます。

第二に、大字誌（おおあざし）のように住民の日常的な生活感覚に根ざした地域史づくりが地域住民自身の手でなされるケースも増えてきました。こうした動向も基礎自治体の広域合併によってもたらされた新たな自治体の領域や枠組みが、住民の日常的な生活領域と大きくかけ離れたことの反映ではないかとみられます。両者がかけ離れたことで、より一層過疎化や人口減少といった問題に拍車がかかるのではという地域社会維持への危機意識が住民自身に生じた可能性が考えられます。危機意識が地域史づくりの契機となったケースとしては、福島第一原発事故による放射性物質の放出・拡散により放射能の高濃度汚染被害をうけ、住民の離散を余儀なくされているような地域で、地区の歴史を叙述しよ

うとする地域史づくり活動が複数見られることも注目されます。近年、頻発する大規模自然災害に全国各地の地域社会が直面していますが、そのような極限状況も含め、地域史づくりがなされる背景には、やはり地域住民の間で地域アイデンティティの喪失への危機感があるものと考えられます。

第三に、〈地域史づくり〉における「継承」「継続性」もいま課題になりつつあります。それは、少子高齢化に伴う担い手の喪失という日本社会全体の実情がもたらしている面もあり、包括的に協議していくべき問題群でもありますが、小中学生を含む若者や中高年の主体的な学びのなかで地域の歴史への着目を促そうとしている尼崎市の事例は、「継承」「継続性」の問題を考える上で大いに参考になると思われます。

以上のように、〈地域史づくり〉のきっかけや実際の活動、継続性の問題といった論点をめぐって考えることを通し、地域社会と大学が協働して進める〈地域史づくり〉のあり方とはいかなるものであるべきかを本日皆様とともに協議してゆきたいと思います。

私たちはこの協議会自体が、多くの参加者の間でつながりが生み出される〈場〉となることを願っています。そのため協議会の合間にできる限り時間をとり、各団体の方々が交流できるコーナーを設けたいと考えています。多くの方々に活動の成果物や書籍をお持ち寄りいただき、展示・交流していただければ幸いです。

2018（平成 30）年 1 月 28 日

神戸大学大学院人文学研究科
神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター